



《亀の子隊の活動のイメージ》

自然＝西の浜

- ・三河湾と伊勢湾に面する
- ・地下水が豊富
- ・三河湾入り口～中山水道
- ・冬の伊吹おろし
- ・豊富な植物が生息
- ・投げ釣りのメッカ

歴史

・戦後がわかれていた。
・戦後土壌の遺跡が調査
・調査記録

生活

- ・海草・木ざれは燃料として使う
- ・海草は畑の肥料にもなった。
- ・地引き網が盛んに行われた。

昭和34年伊勢湾台風により大きな被害＝堤防・防砂林が築かれる

↓

海から陸へ生活圏が移動

西山地区へ開拓移住が始まり、荒地が開拓される

海に対する意識の低下

昭和43年豊川用水が完成＝本格的な農業へ進展

↓

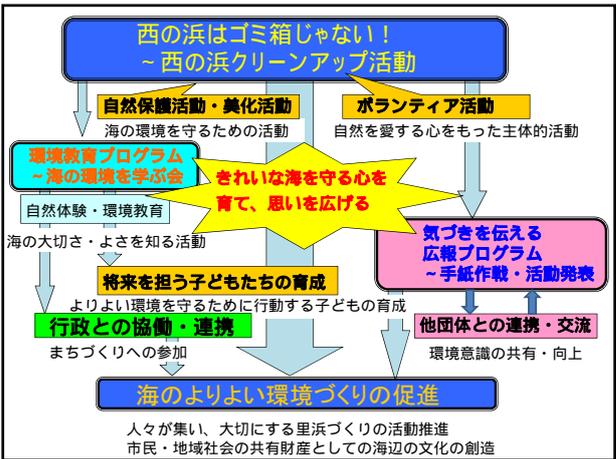
海から生活が離れる

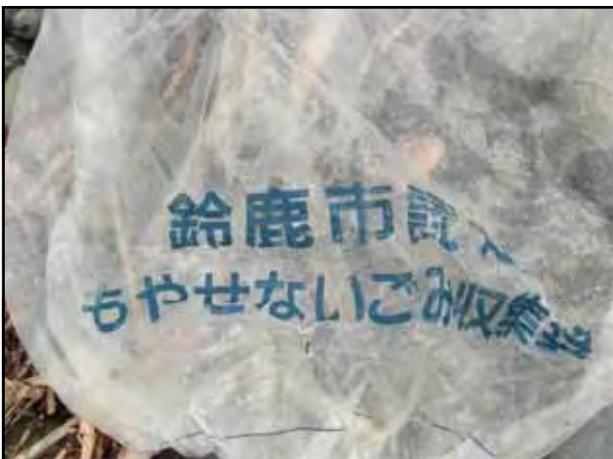
高度成長長期時代

浜がゴミで埋まる

海辺の環境の悪化

平成10年 西の浜の活動が始まる





















「西の浜はゴミ箱じゃない！」

「西の浜クリーンアップ活動」

平成23年度
参加者数

1,435人

ゴミの総重量

3,460Kg

西の浜クリーンアップ活動参加者数

2003年度	937人	3310Kg
2004年度	1060人	3950Kg
2005年度	823人	2690Kg
2006年度	638人	3340Kg
2007年度	938人	4300Kg
2008年度	1054人	2900Kg
2009年度	986人	3890Kg
2010年度	1225人	4870Kg
2011年度	1435人	3460Kg
2012年度 ^(01月まで)	1042人	3400Kg

亀の子隊の目的は？

西の浜をきれいにする事ではない

西の浜をきれいにする活動を通して
海をきれいになろうとする心を広げること

海を原点として
自然を愛する心を広げること

亀の子隊の目的は？

西の浜をきれいにすることではない

思いを広げること

きれいな海を守りたい

西の浜の活動を通して考えること

活動に参加する子どもたちに

- ・ ふるさとを愛する心を育てる
- ・ ふるさとのよさを守るために主体的に活動する態度を養う
- ・ ふるさとのよさを守るために活動を続けていく心を育てる
- ・ ふるさとのよさを守るために関わっていただいている人たちへの感謝の気持ちを育てる















あつみNPOのつどい



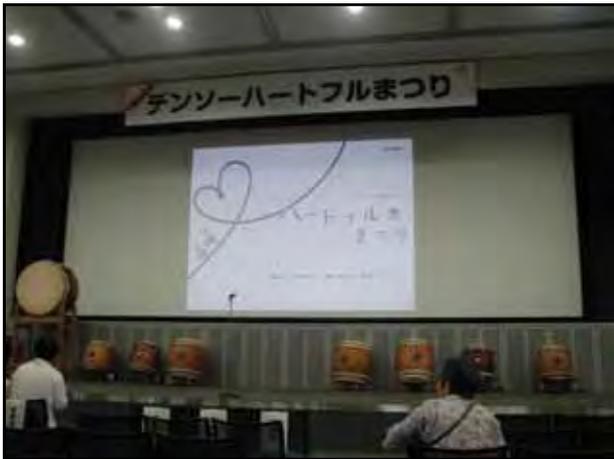
あつみNPOのつどい



たはらしみんのひろば



たはらしみんのひろば



デンソーハートフルまつり



2012 環境デー名古屋



2012 環境デー名古屋



2012 環境デー名古屋





伊勢湾流域圏フォーラム



伊勢湾の海岸漂着ゴミを
流域のみんなで考える会議



伊勢湾の海岸漂着ゴミを
流域のみんなで考える会議

毎月1回行っている

西の浜クリーンアップ活動

平成10年以來

191回

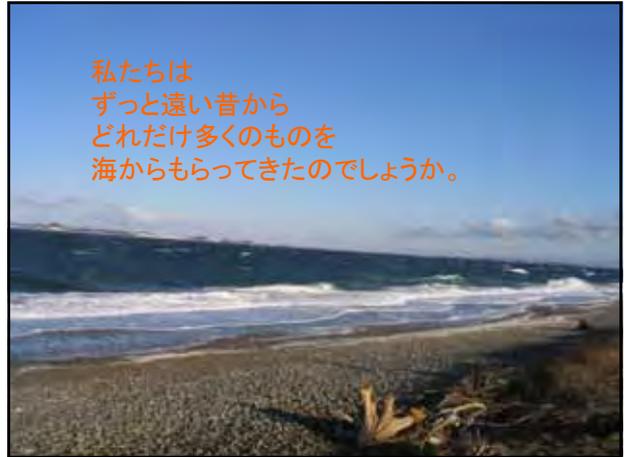
52,330Kg







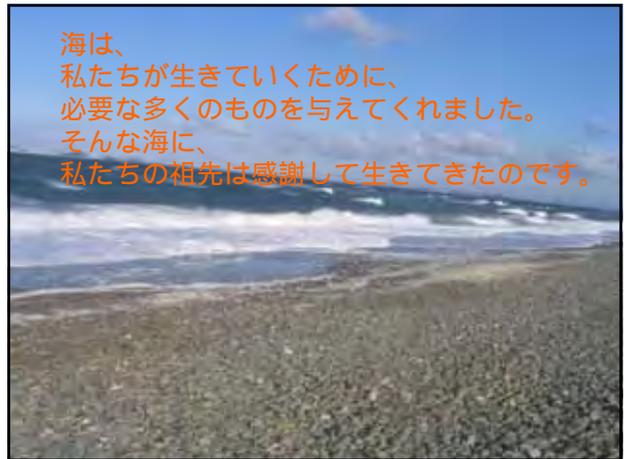
私たちは
ずっと遠い昔から
どれだけ多くのものを
海からもらってきたのでしょうか。



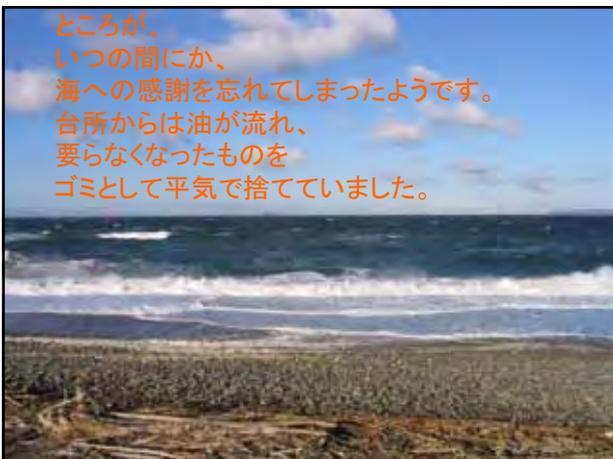
食料としての魚、貝、烏賊、蛸、海草。
海草は畑の肥料としても利用できました。
海の水からは塩も作ることもできました



海は、
私たちが生きていくために、
必要な多くのものを与えてくれました。
そんな海に、
私たちの祖先は感謝して生きてきたのです。



ところが、
いつの間にか、
海への感謝を忘れてしまったようです。
台所からは油が流れ、
要らなくなったものを
ゴミとして平気で捨てていました。



海はすべての命の源です。
私たちは、大昔の人たちのように
もっともっと
海を大切にしなければならないと思います。
そして、21世紀に生きる私たちは
きれいな海を守っていききたいと思います。

